

相馬港[沖防波堤]災害復旧工事現場見学会を開催

地元園児 復興への思いを絵に託す

東日本大震災によって甚大な被害を受けた相馬港において、現在の災害復旧工事の進捗状況や工事の内容について広く知ってもらうため、12月11日、地元住民や報道機関に対し、現場説明会を開催しました。

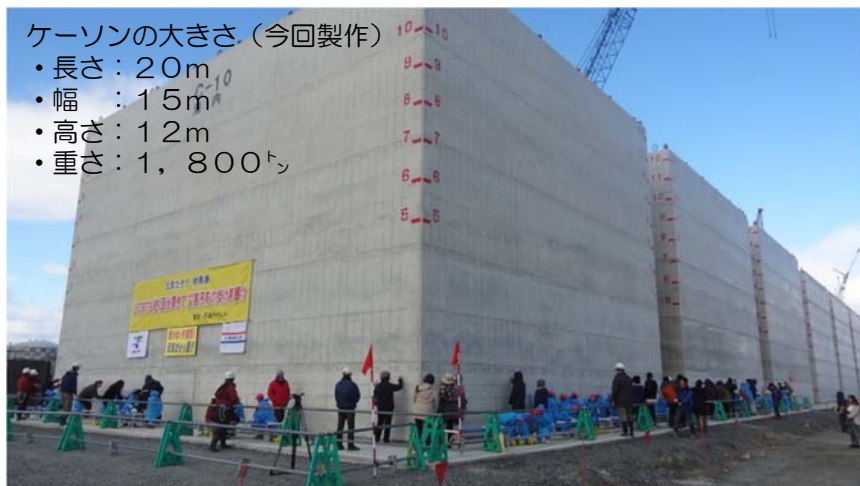
また、同日、地元幼稚園児を招き、豊かで安全な海が一刻も早く戻るようにとの願いを込めて、防波堤ケーソンへの描絵会も同時に開催しました。



▲工事の説明を受ける園児や地元住民の方々

ケーソンの大きさ（今回製作）

- ・長さ：20m
- ・幅：15m
- ・高さ：12m
- ・重さ：1,800ト



▲4号ふ頭地区陸上製作ヤードに並ぶケーソン



▲ケーソンに絵を描く園児

沖防波堤の早期復旧へ

沖防波堤（全長2,730m）は、東日本大震災の津波によって、約9割のケーソンが傾斜・転倒するなどの被害を受けました。

現在は、相馬港の陸上や海上（FD※）に加え、小名浜港のFDも利用し、ケーソン製作を急ぐとともに、消波ブロック堤や仮防波堤の設置、傾斜ケーソンの再浮上・移設、転倒ケーソンの撤去などの工事を進めています。

※FD（フーティグドック）：ケーソン製作用の浮きドック



▲ケーソン再浮上工事の様子



国土交通省 東北地方整備局 小名浜港湾事務所
〒971-8101 福島県いわき市小名浜字栄町65
TEL: 0246-53-7100
URL: <http://www.pa.thr.mlit.go.jp/onahama/>